

Well-being をめざして

社員一人ひとりが安心して、長く、自分らしく働き続けられる職場づくりを大切にしています。

健康経営

安心して働けることが、良い仕事につながる。

ふじのくに健康づくり推進事業所に認定

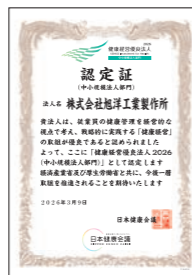
めざせ！健康寿命日本一！

ふじのくに健康づくり推進事業所宣言

全ての従業員が
『身体的・精神的・社会的に良好な状態＝well-beingで活き活きと活躍できる場となること』を目指します！

令和7年 4月 1日
企業・事業所名 株式会社 旭洋工業製作所

静岡県



5年連続！健康経営優良法人 2026 に認定

健康経営優良法人制度とは？

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから評価を受けることができる環境を整備することを目的に、2016年度に経済産業省が創設した制度です。



スポーツウェルカンパニー 2026 に認定

スマホアプリを使ったウォーキングイベント実施

健康推進チームを設置

社員一人ひとりの健康づくりをみんなで考え、取り組みを進めるため、社内に「健康推進チーム」を設置しています。

地域貢献活動

地域とともに成長する企業を目指しています。

交通安全街頭啓発

「全国交通安全運動」の時期に合わせて、交通事故撲滅を目指し、交通安全啓発活動実施



河川清掃

狩野川水系水質保全活動協議会の幹事会員として、支部幹事会や総会への出席や河川清掃への参加



一般社団法人旭洋友愛会

長泉町内の高校に通う学生に奨学金を給付

その他

- ・ K-MIX主催92日間の無事故・無違反を競う「チャレンジラリー92」等、交通安全活動への協賛
- ・ 野木町ひまわりフェスティバルなど地域イベントへの協賛

環境活動

未来につながる環境づくりに取り組んでいます。

グローバル工場CO₂ 0チャレンジ

- ・ 革新技術の導入（生産高効率&省エネ設備への置き換え）
- ・ 「日常改善」で徹底した省エネ活動
- ・ 再生可能エネルギーの導入
- ・ 緑化の推進



取締役社長 杉山 聡



2023年2月
タイ工場にソーラーパネル設置



野木工場 ソーラーパネル設置



安心して働ける環境があるからこそ、良いものづくりができる。

信頼の技術で 安全と快適を支える

その技術を支えるのは、人。



Made with **KYOKUYO**



KYOKUYO INDUSTRIAL Co.,LTD.

株式会社 旭洋工業製作所



株式会社 旭洋工業製作所

<https://www.kyokuyo-ind.co.jp/>

本社 / 静岡県駿東郡長泉町東野 50-16 Tel. 055-986-2221 Fax. 055-986-8305



必要とされる 価値ある企業をめざして

私たちは、富士山のふもと、緑豊かな静岡県に本社を置き、プレス部品及び金型・自動化設備メーカーとして、企画・構想から加工組立まで一貫した生産体制を持ち、万全な品質管理により、信頼性の高い製品を生産しております。
これからも「お客様第一」の理念のもと培って来た技術力・現場力を拠り所として、より良い製品を、より早く、より廉価に、お客様にお届けできるよう旭洋グループに関わる全てのスタッフ一丸となり邁進してまいります。

会社概要

会社名	株式会社旭洋工業製作所 (KYOKUYO INDUSTRIAL Co.,LTD.)
本社所在地	〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町東野 50-16
設立	1953年10月1日
資本金	6,000万円
代表者	取締役会長 佐野 昌司 取締役社長 杉山 聡
事業内容	自動車部品の製造 冷凍機・給湯器部品の製造 プレス金型の設計製作
主な取引先	株式会社協豊製作所 株式会社プロスパイラ 太平洋工業株式会社 トヨタ自動車株式会社 トヨタ自動車東日本株式会社 豊田鉄工株式会社 日本キャリア株式会社 日立グローバルライフソリューションズ株式会社 日野自動車株式会社 三菱電機株式会社 ユニプレス株式会社 (50音順)
取引銀行	静岡銀行 スルガ銀行 みずほ銀行 三菱UFJ銀行
関連会社	旭洋商事株式会社 Kyokuyo Overseas Holdings Co.,Ltd. Kyokuyo Industrial (Thailand) Co.,Ltd. PT.Kyokuyo Industrial Indonesia



国内拠点

本社工場 住所：静岡県駿東郡長泉町東野 50-16 TEL：055-986-2221 FAX：055-986-8305
裾野工場 住所：静岡県裾野市葛山 1104-1 TEL：055-997-0158 FAX：055-997-2483
須山工場 住所：静岡県裾野市須山 2810-2 TEL：055-965-1034 FAX：055-965-1036

野木工場 住所：栃木県下都賀郡野木町大字川田 53-1 TEL：0280-67-3022 FAX：0280-67-3024
登米工場 住所：宮城県登米市迫町北方字大洞 104-17 TEL：0220-57-1020 FAX：0220-57-1021

これまでの歩み

静岡県三島市宮町に(有)旭洋工業製作所を設立
主として毛糸編物機械を製作

1953年

● 静岡県駿東郡長泉町に第一工場を新築し、移転 1956年

● 第一工場隣接地 700 坪を取得し、冷凍機組立工場を新設 1960年

● 有限会社より株式会社に改組。自動車部品のプレス、組立加工を始める 1962年

● 第二工場を新設し、自動車部品のプレス加工及び事務用椅子の組立を行う 1963年

中小企業庁より合理化モデル工場に指定される

1964年

● 第二工場を増設し、スチール家具の製造を始める 1966年

● 神奈川県に平塚工場を開設し、板金組立加工および事務用椅子の製造を始める 1967年

● 静岡県駿東郡長泉町に第三工場（三島工場）を開設し 1970年
● インジェクションフレームの製缶、配管を中心として大型板金加工を行う

● スチール家具部門が独立し、旭洋商事(株)が発足 1972年

静岡県裾野市に裾野工場を開設し
自動車部品の組立加工を行う

1980年

● 平塚工場を閉鎖 1981年

現在地に本社工場を開設

1983年

● 本社への移転を終了 1984年

● 三島工場に治工具棟を増設 1987年

● 本社に第二工場を増設 1992年

● 本社に第三工場を増設 1995年

旭洋タイランド (KIT) を設立

2002年

● KITの工場を増設 2005年

● 2009年 KIT 新工場 (第2工場) を新設

2011年

● 須山工場を新設し
● 三島工場を須山工場へ移転。
● KIT に工機部門を設立

2012年

● 旭洋インドネシア (KIIN) を設立

● 2013年 旭洋オーバーシーズ・ホールディングス (KOHD) を設立

● 2015年 裾野工場に事務所と工場を新設

2017年

● 栃木県下都賀郡野木町に野木工場を開設

● 2019年 野木工場にプレス棟を新設

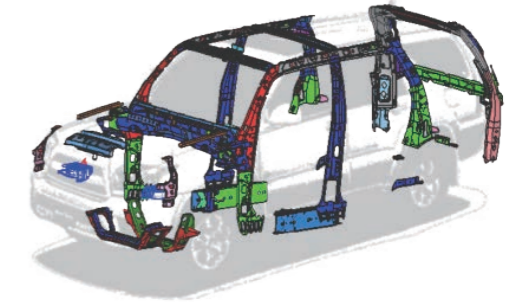
2021年

● 宮城県登米市に登米工場を開設

次の
100年
に向けて

事業内容

自動車部品、冷凍機・給湯機部品の製造



プレス加工・溶接等の組立加工

■ 車体骨格部品・フレーム部品

■ 空調・冷凍機器用コンプレッサーケース部品



生産ツールの設計・製作

設計・製作

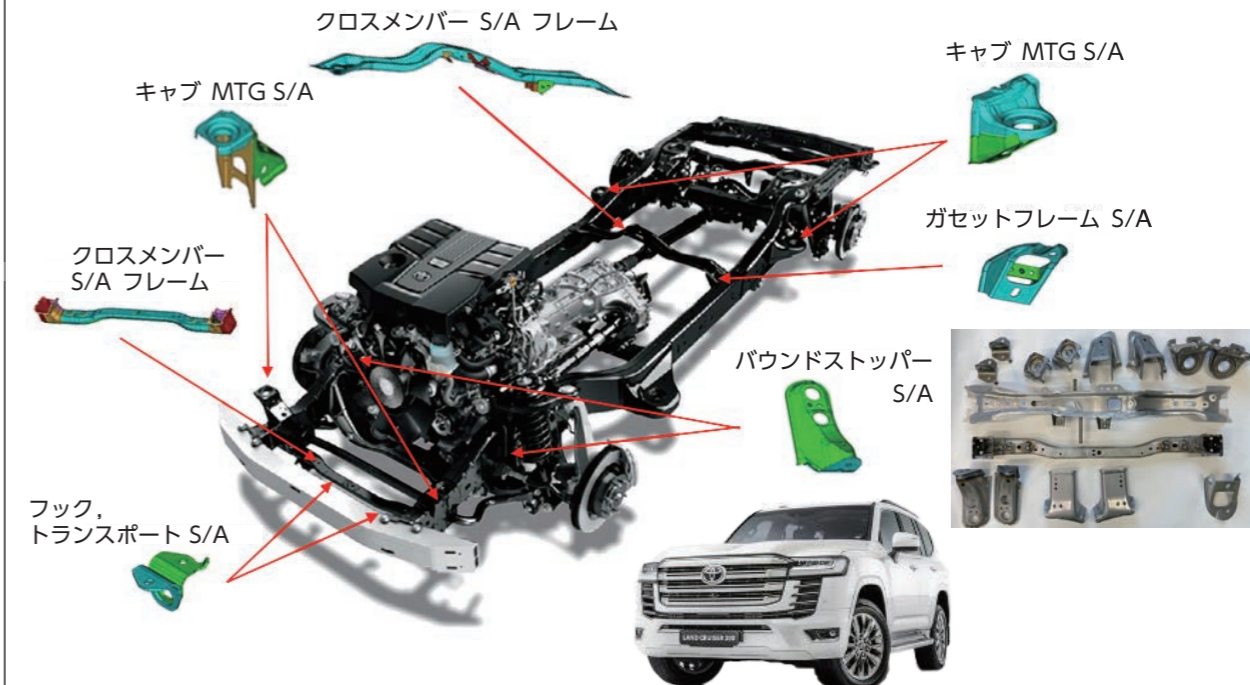
■ プレス金型

■ 治具



構想から加工組立までの一貫した生産体制のもと培ってきた高い技術力を
抛り所とした付加価値の高い製品の供給を実現

製品紹介



製品の市場化までの流れと職種



1 業務

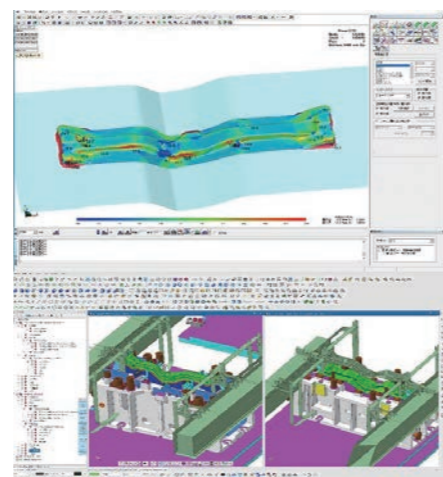
お客様窓口として円滑な生産準備を目指す

自動車部門、冷凍機部門に分かれて業務を行っています。新プロジェクトの生産準備においては、得意先との窓口となり、社内各部署と連携を図り、スムーズな立上げを目指し奮闘しています。製品見積作成、売上予算実績、単価マスター作成などの業務負荷が集中し、多忙な時期もありますが、皆で協力して乗り越えています。今後も、取引先のお客様を大切にするとともに、社内製造、技術部門の支えに感謝し、営業活動に励んでいきます。

2 金型設計

「さすがは旭洋！」と言われるような 自社オリジナルの金型構造開発を目指して

自動車部品用プレス金型を設計しています。アイデアひとつで費用が大きく変わる非常に重要なセクションであり、客先・営業・後工程の要求をまとめながら納期短縮のため各業務を並列してこなしています。高い要求水準と品質基準を満たすために、CAE解析・FEMを活用し最適な製作プロセスの確立を目指しています。世界中に当社の高品質な金型を供給する事はもちろんの事、自社オリジナルの金型構造を開発していきます。



3 生産技術(プレス・組立)

自動車部品(プレス・溶接等の組立部品)の製造に 必要な金型・生産ラインなどの準備

受注～量産までの一連の生産準備業務を担っています。客先へ原価低減、生産性向上等の提案も行い、より良い品質の製品を、より効率よく生産できるよう進めていきます。



4 品質保証

品質に関わる全てに対応するスペシャリスト集団

客先への品質はもちろんの事、社内・外注・購入品等の不具合調査、解析、展開、処置など社内・各拠点のまとめ役です。材料からプレス、組立、出荷、客先品質まで全てを把握し、量産品質や生産準備に関する知識、工程監査能力も必要となります。また、ベクトロンやハンディスキャン(3D)等の測定機器を使用した精度解析、マイクロスコープを使用した溶接断面検査判定等で、客先で決められた判定基準を満たす品質を作り込みます。



5 製造(部品)

自動車部品、冷凍機部品を プレス加工または溶接等の組立加工

大型プレス機などのプレス機を使用し部品を加工するプレス加工、CO₂溶接やスポット溶接を用いた部品自動ラインでの組立作業を行う組立加工で部品を製造しています。「お客様へより安全により良いモノをより早くお届けする」ことをモットーに、日々、安全、品質、生産性の向上に努めています。



5 製造(金型)

自動車プレス部品の生産に必要な不可欠な 金型を製作

設計段階で熟練した作業者の現場ノウハウを取り入れつつ、CAEを駆使し、コンピューター上でのバーチャルトライをくり返し行うことで、事前に成形性不具合をつぶしこんだ金型面形状を決定しています。自社でプレス生産を行うメーカーの強みを生かし、生産性を十分に考慮しつつ、多様化するお客様のニーズに応えられるよう取り組んでいます。

